



清元市長、いま何しとん？
を伝える

かわら
版

第3号

令和2年(2020年)12月号

●発行 / すこやか姫路市民の会
●発行人 / 岡田兼明
〒672-8048 姫路市飾磨区三宅1-192
田中興産ビル4F
TEL 079-226-0770 / FAX 079-226-0771
Email kawaraban@kiyoraka-himeji.jp

すこやか姫路

★ 姫路市立姫路動物園移転が決定！そのあとどうしたい？

みんなに愛され思い出がいっぱい 世界遺産国宝姫路城の動物園

世界文化遺産・国宝姫路城の天守に隣接する姫路市立動物園の移転が決定しました。昭和26年(1951年)に開園以来70年もの間、姫路市民に愛され思い出のたくさん詰まった、全国で唯一の「お城(特別史跡)の動物園」。動物福祉、施設の老朽化、そして特別史跡内にあるがゆえの様々な制約があるけれど、ここにあるからこそその価値もあるはず。閉園したら、築城当時の状態(御作事所)に戻すことになるって知ってる？みなさんも姫路市立動物園の跡地の在り方について考えてみませんか？ この問題は継続して考えてゆきたいと思います。

★ いいところ

- 姫路城の三の丸にある
- 入場料が安い
大人200円、子供30円
- 姫路城がきれいに見える
- 大型動物もいる動物園
- 見ると幸せになると話題のハートマークのあるキリンのコウスケ
- レトロな遊具のミニ遊園地
- コンパクトサイズ

★ 移転に対する市民の思い (移転賛成派)

- 動物が国の規制や人間の都合で古い設備に閉じ込められ続けるのはかわいそう
- きれいな設備でリニューアルしたほうがお客さんも入るし、動物にとっても幸せ
- 海外から来た人が絶句するレベルの環境の悪さ
- 動物の飼育環境は、最近の動物福祉には合わず批判の対象

★ 存続の壁

- 文化財と動物保護の間で
- 動物福祉(快適な飼育環境)
姫路動物園は狭い檻で、飼育環境が劣悪
- 展示の方向性の変化
姫路のような動物別に小さな檻に入れて近くで見せる「分類学的展示」から、野生の動物の行動や生活を見せる「行動展示」へ
- 施設の老朽化
- 文化財保護法(特別史跡)の制約
獣舎の補修、移設、杭打ちや植栽も国の許可が必要で整備が困難

★ 移転に対する市民の思い (移転反対派)

- お城から離れてしまったら、目玉の動物がいないと集客できない
- 入場料をあげても残してほしい
- お金をかけてもしょうがない。三の丸広場にある動物園で十分
- あそこにあるからこそええ姫路動物園
- あのお城が見えるレトロな遊園地がいい感じ。レトロは貴重

個人的には、園の意義や市民の愛着を認めたと上で、ペンギンなど水生動物を水族館に移したい。



清元市長



★ 姫路市の今後のスケジュール

- 令和3年度 新動物園の提案
コンセプト、機能、立地、規模などに関する意見を参考に検討進める
- 令和4年度 候補地の選定
- 令和6年度 整備計画の策定
- 令和10年度 現動物園の閉園
- 令和11年度以降 新動物園開園

★ 動物園、跡地の在り方について希望要望を伝えよう！

- 市政ふれあいメールに
 - 市議会に請願・陳情
- 動物園の在り方検討専門部会へ



動物園への思い ～ 花見のとき ～

動物園の横を通るたびに、幼い息子や娘を連れてきていた頃を思い出す。キリンに向かって駆け出した、まだ歩き始めたばかりの娘。爬虫類コーナーが好きだった息子。小さな電車の遊具に座らせて写真を撮った。何十年も前に私が祖父に撮ってもらったように。来年の春には東京で暮らす孫もひとりだけで歩けるようになっていかな。帰省した際にはここに連れてきて、微笑む彼女の写真を撮ろう。時代の流れの中で、暮らす動物達や施設は変わっていくだろう。ただここが姫路市民にとって、幸せな思い出の場所であり続けることを祈るばかりである。 I.Hさん(姫路市野里校区在住 50代男性)



★ 清元市長 なう 2020年11月

市長の仕事のほんの一部をご紹介します。

- 令和2年第4回姫路市議会定例会 11/25-12/21
- 松本市名誉市民推戴式典 @松本市 11/1
中学生交歓キャンプ、スポーツ交歓会、研修派遣等を通じて、両市の友好促進に活躍したことによる推戴。
- 第35回榎原康政公ゆかり四市市長懇談会@姫路
- 日本ボーイスカウト兵庫連盟活動振興大会 11/7
- 市町村長の災害対応力強化のための研修 11/16
- 技能功労者表彰式 11/20

優れた技能を体得し、業界及び広く社会に貢献した方々の功績を讃えるとともに、技能者の技能の向上及びそれに向けた意欲の醸成を図ることを目的としています。今年、14名の方が表彰されました。

★ 海外の方にも人気です！

「姫路城ポップアップカード」



清元市長が東京などに出向き、要人の方にお目にかかる時、お土産としてお持ちする逸品に「姫路城ポップアップカード」があります。先日、その美しさと精巧さに、参議院議員三原じゅん子先生(厚労省副大臣)もとても感動され、Twitterでも紹介されていました。

これは、奈良の活版工房丹の社長さんが、姫路市出身というご縁から、市長が姫路城ポップアップカードのアイデアを出し、作成を依頼しました。すでに興福寺や遣唐使船のカードは販売実績がありましたが、その精巧さから、完成までに1年、試作を3回繰り返し、ようやく完成しました。細かなパーツを1つずつ手作業で組み立てて作られています。コンパクトで軽いので、外国の方へのお土産にもピッタリ。1つ¥3,500(税別)。同封の封筒に切手を貼ってそのまま郵送できます。

姫路市内では姫路城出入口横のお土産物店で販売しています。活版工房丹さんのHP →



★ 2021 清元ひでやす新春の集い(会員限定)

会場とWEB(YouTubeライブ配信)と同時開催

- ・1/31(日) 14時開始 姫路文化センター大ホール
- ・ゲスト講演 平田オリザ氏 市長との対談もあります
- ・会費 2,000円(記念品付)

くわしくは、右記までお問い合わせください。⇒

★ 清元ひでやす ～父との思い出～

『親子丼と他人丼』



撮影：西松史純

県会議員だった父の功章氏は、いつも忙しく、自宅にはあまり帰って来なかったそうです。そんな父、功章氏と小学生だったひでやす少年の思い出は、毎年お正月に参詣した、生駒山の中腹にある宝山寺。近鉄生駒駅からロープウェイを乗り継いで、寡黙な父との男2人旅。

このお寺に祀られている歓喜天は、「生駒聖天」として親しまれ、商売繁盛の神として、また現世の願いを余すことなく叶えてくれる靈験あらたかな神として、広く信仰されています。

ある年、お昼に入った宝山寺の近くの食堂で、ひでやす少年は大好きな「親子丼」を、父は「他人丼」を注文。「他人」という言葉がつく丼に、「なんて冷たい非情な丼なんだろう、お父さんはなんでそんなものを食べたいんや。そういえば2人の姉ちゃんと僕は年が離れてるし、もしかしてもらわれっ子？」と、想像はどんどん膨らんで。

そしてさらなる悲劇が。なかなか出てこない「他人丼」に短気な父は怒り出し……。先に出てきた「親子丼」をちょっぴり寂しく、ドキドキした気持ちで、黙々と食べたひでやす少年でした。今でも市長は、「親子丼」が大好物だそうです(*^-^*)

★ 206ヶ所 全市立学校の完全自動水栓化完了！

令和2年10月、全市立幼稚園や小中高校、特別支援学校、放課後児童クラブで手洗い場の自動水栓化が完了しました。従来のハンドル型水栓は新型コロナウイルス接触感染のリスクがあるため、インフルエンザが流行する前に整備完了を目指していました。



★ 編集後記

○今月の絵手紙 「蟹」

蟹の美味しい季節、お鍋の恋しい季節ですね♪

○今年も残すところあとわずかとなりました。コロナでイベントがなくなり、外出の機会も減って、

特に1年が早かったような気がします。手探りで始めたかわら版ですが、ご愛読いただきありがとうございました。

来年も頑張って発信していきたいと思えます。

令和3年がみな様にとって、良き年となりますように

TEL: 079-226-0770 FAX: 079-226-0771

E-mail: kawaraban@kiyoraka-himeji.jp



作 清元 淑子